

第31回肢体不自由児・者の美術展

書道の部で篠原天和くんが特賞を受賞!

1月4日、篠原天和くん(金川小4年)が市役所を訪れ、「第31回肢体不自由児・者の美術展」書道の部で、日本肢体不自由児協会賞を受賞したことを報告しました。

脊髄髄膜溜という病気で生まれた篠原くんは、水痘症や下肢麻痺などの合併症も併発していますが、2年前から姉のりんさんの影響を受けて書道教室に通い始めました。今回、「初歩」という文字を書いてこの美術展に初めて応募。書道や絵画など全国から応募された作品907点の中から24点の特賞のひとつに見事選ばれました。

篠原くんは「次回は絵を描いて出したいです。これからもがんばります」と新たな意欲を見せていました。



▲賞状を手に受賞を報告した篠原くん



▲「料理をつくることで、周りの人にほめてもらうことが子どもの心を育む」と話す竹下さん

“弁当の日”がやってきた

ゆめっせ男女共同参画研修会

1月15日、田川市民会館で、元香川県小・中学校長の竹下和男さんを講師に迎え「“弁当の日”がやってきた～『くらしの時間』を家庭に～」が開催され、約100人が参加しました。

竹下さんが提唱した、献立づくりや買い出し、調理などすべての作業を子ども自身が行う「弁当の日」。竹下さんは、この「弁当の日」に取り組んできた経緯やその効果などについて、実例を交えながら話し、参加者は、竹下さんが紹介する具体例などに熱心に耳を傾けていました。

竹下さんは「子どもたちが、男女問わず料理をつくり、他人に喜んでもらえる楽しさを知る環境を、大人がつくってほしい」と訴えました。

シリーズ 田川市立病院だより

●かわいい情報はHPで検索

田川市立病院 クリック



整形外科部長
鈴木 暢彦

診療科の紹介—整形外科

田川市立病院整形外科は、張瑞棠副院長、わたし、野崎義宏医長、和氣聡医長の常勤医4人で診療に取り組んでいます。

骨折や脱臼・捻挫などの急性外傷のほか、加齢による変性疾患(変形性膝関節症や変形性股関節症・変形性脊椎症、外反母趾など)、骨・関節・軟部組織の感染やけんしょう炎、関節リウマチの滑膜炎に対する治療も行っています。高齢化社会になり、増加を続ける股関節周囲の骨折に対しても力を入れており、症例に応じて最適と考える方

法を選択して手術を行っています。高齢者の膝関節や股関節の変形・変性に対しては、人工関節置換術を従来から行ってきましたが、近年は、症例数も増加しています。院内各科との連携のもと、いろいろな合併症を有する人にも手術対応が可能です。

整形外科外来は、月曜日から土曜日までの午前中に診療を行っています(受付は11時まで)。骨粗しょう症外来も行っていますので、受診を希望される時は、まずは電話で問い合わせてください。